

行政・自治体向け公演のご案内

谷ノ上朋美 一人芝居 講演会

男女共同参画

人権

LGBTQ

ジェンダー

多文化共生

平和学習

ABOUT THIS PERFORMANCE

男女共同参画・人権・LGBTQ・平和学習に活用できる 一人芝居・講演会のご案内

■内容

人権、男女共同参画、LGBTQ、平和学習などをテーマに、
自らの体験から紡ぎ出された言葉を、一人芝居と講演を通して届けています。
一人芝居＋アフタートーク、講演会、映像上映会など、
地域やご予算、事業目的に応じて柔軟に対応しております。
全国の行政や学校にて導入実績、リピート実績多数あり。

■費用

公演費用は、会場条件・内容により異なります。
※ご予算に応じたご提案も可能ですので、お気軽にご相談ください。

関西を中心に、全国の自治体・学校で導入いただいています。
中学校・高校・大学では、平和や人権を学ぶ機会としても活用されています。

電話受付窓口

株式会社プランニングハウス・ウエスト

TEL：06-6223-7776（平日10:00～16:00）

ピュアモノログ事務局

mail：contact@puremonologue.com



HP



公演依頼

作品紹介

自身の体験や、看護・カウンセリングの現場で出会ってきた声を土台にした作品群です。
行政の事業テーマに応じて、複数の演目からご提案が可能です。

女性の生きづらさ

LGBTQ

ジェンダー

自己受容

旅立ちの詩～彼女たちの羅針盤～



2018年11月初演

【脚本・演出】正木邦彦【音楽】藤田晴美

【公演時間】約70分

【あらすじ】

同窓会で久しぶりに再会した女性たち。乗り越えてきた人生の波の底に浮き彫りになる様々なマイノリティの苦悩。

容姿コンプレックス、虐待、不妊、LGBTQなどの悩みを抱え、「普通とは何か?」「こうあるべき」ととらわれて人と比べてしまうという狭い価値観から脱出したとき、彼女たちの羅針盤はどこを目指すのか? 現代社会のリアルな悩みを抱えた彼女たちの人生を笑いと涙で紡ぎだす鮮やかなひとり芝居!

【ご感想】

- ・自分自身が体験し感じられたこと、実体験から作られたからこそ、心に届くお芝居ができるのだと心に響きました。
- ・こんなに涙があふれて、心が動き人生の色んなことを感情で思い出す経験をしたお芝居は初めてです。感動という言葉とはまたちがう、心の底から何かがあふれだす素晴らしいお芝居でした。

【行政実績】

大阪：富田林市、堺市、守口市、大阪市、枚方市、吹田市、大東市、
四條畷市、高槻市（人権まちづくり協会）淀川区（PTA協議会）
奈良：宇陀市、桜井市、天理市
岡山：総社市

【学校実績】

島根県立大学、大阪府 暁光高校（PTA会）

作品紹介

自身の体験や、看護・カウンセリングの現場で出会ってきた声を土台にした作品群です。
行政の事業テーマに応じて、複数の演目からご提案が可能です。

DV防止

人権

ジェンダー

自己受容

ワタクシ、ゴト



【あらすじ】

京都市との共同制作により生まれた、DVをテーマにした一人芝居。身体的暴力だけではなく、支配や心理的圧迫など、見えにくいDVの実態を知ってもらい、自分自身や身近な人を守るための気づきにつなげることを目的にしています。

実際の体験談をもとに原案を制作し、劇作家・樋口ミユ氏が脚本化。

DVを「自分ごとではない」と思っている人にも、「わたしのことかもしれない」と問いを投げかける、朗読劇のようで朗読劇ではない、独自の世界観で描かれたひとり芝居。

2020年11月初演

【脚本・演出】樋口ミユ (Plant M) 【音楽】大地の種

【公演時間】約40分

【ご感想】

・幕開けの登場から退場まで静寂の中でのDVによる心の闇を感じ取れる迫真の舞台、すばらしかったです。様々な事例を聞きながら、どの家庭でもあると感じました。

・リアルな内容で勉強になりました。知ることによって誰かの手助けが少しでもできるようになると感じました。

【行政実績】

京都府：京都市 大阪府：堺市、東大阪市、守口市、

作品紹介

自身の体験や、看護・カウンセリングの現場で出会ってきた声を土台にした作品群です。
行政の事業テーマに応じて、複数の演目からご提案が可能です。

平和学習

いのち

人権

戦争の記憶の継承

ゆんたくしましょうね



【あらすじ】

谷ノ上朋美の祖母は、沖縄戦で両親兄弟姉妹を一瞬にして失った。戦後の厳しい時代を生き抜いてきた祖母からの聞き取りとガイドとともに沖縄戦を辿る旅で見て感じた体験を元に、ほぼ谷ノ上朋美の実話で創り上げた沖縄の物語。

2022年5月初演

【脚本・演出】樋口ミュ (Plant M)

【公演時間】約70分

【ご感想】

- ・目の前で戦争が起きているかのようなリアルさや必死さ、戦争の恐ろしさを体で感じる事が出来て貴重な体験だった。自分が生きることが奇跡なんだと実感し、今を大切に生きていこうと思った。
- ・資料や教科書からでは伝わらない“血の匂い”や“生き延びるための身体の痛み”が、芝居から伝わってきた。

【行政実績】

大阪府：堺市、守口市、京都府：福知山市、奈良県：宇陀市
鳥取県：大山町

【学校実績】

鳥根県立大学、京都立命館大学、大阪府枚方市、大阪府富田林市など

作品紹介

自身の体験や、看護・カウンセリングの現場で出会ってきた声を土台にした作品群です。
行政の事業テーマに応じて、複数の演目からご提案が可能です。

多文化・異文化共生

多様性

いじめ

自己受容

人魚姫...の娘。



【あらすじ】

人魚の母と人間の父の子どもとして生まれた主人公のエルカは、自分の存在を「異質な者」として受け入れられずに「本当の自分」を隠して生きている。そんなエルカに大事件が起こって、、、。多文化共生、多様性、平和をテーマに、想いを歌にのせて描いた子どもから大人まで楽しめる一人芝居音楽劇！

【脚本・歌詞】エスムラルダ 【演出】増田雄 【音楽】赤松真理
【公演時間】約45分 （2024年6月初演）

【ご感想】

・感どうしました。おばあさんのさいごの言葉に、心が動かされました。ぼくはもうなみだが出すぎて目がかゆくなるくらいになりました。これから自分らしく生きていこうと思いました。(2年生)

■ 差別などのメッセージも含まれていて、また一人でたくさんの役、立場を演じられていてとてもわかりやすかったです。人と違う自分を認めることの重要さを感じました。

【行政実績】

大阪：富田林市、堺市

【学校実績】

名護特別支援学校、大阪府富田林市、滋賀県大津市

作品紹介

自身の体験や、看護・カウンセリングの現場で出会ってきた声を土台にした作品群です。
行政の事業テーマに応じて、複数の演目からご提案が可能です。

がんサバイバー

余命

人権問題

生き方

縄、編む



【あらすじ】

在日コリアンとして、シングルマザーとして、看護師として。そして余命宣告を受けたがんサバイバーとして生きる『朴明子さん』の人生を通して、生きることの本質を問いかける一人芝居。

私たちは誰もが、限りある時間の中を生きています。だからこそ今、何を大切にし、誰と生き、どんな人生を歩むのか。

一人ひとりが自分自身の人生と向き合う、そんな時間です。

【脚本・演出】桂春蝶

【公演時間】約80分 2026年5月初演

【ご感想】

・実在の女性・朴明子さんの壮絶な闘病と、命の大切さを伝える生き様。彼女が未来を向いて今を生きることが、まわり回って世界を救うことになるのだと、舞台を通じて強く伝えられます。『今をどう生きるか』『自分の使命とは何か』大きな問いを優しく、しかし力強く差し出されるような素晴らしい舞台でした。

・天に与えていただいた命、命が限られているのは誰でも同じ。誰もが『余命』を生きている。余命をどう生きるか、どうデザインするのか？深く考えさせられる、勇気をいただいた舞台でした。

・舞台を見ながら、『命には限りがある』という当たり前のことを、改めて強く感じました。そして、自分と同じ時間をともにしてくださっている人、支えて下さる方々、日常の小さな出来事全てが、実はとても尊く幸せなことなのだと気付かされました。

作品介绍

自身の体験や、看護・カウンセリングの現場で出会ってきた声を土台にした作品群です。
行政の事業テーマに応じて、複数の演目からご提案が可能です。

男女共同参画

人権

平和学習

メンタルヘルス

講演会



【内容】

谷ノ上朋美が舞台を通じて伝えたいこと。「自分を認められない」苦しみを手放して「自分らしさ」に至る、と決めたときに、本当の意味で幸せに気づくことができた。自らの生き立ち、経験、挫折、出会った人々の痛み、そんなたくさんの出会いと経験から教えてもらったことをありのままに語ります。

【ご感想】

病院での訴え、谷ノ上さんがお芝居を再開した時に他人にどう思われてもいい、自分がやりたいことをやるんだ、というお話。とても心が動かされ目頭が熱くなりました。わたしも自分らしく生きてゆこうと思えました。感謝です。

【行政実績】

大阪府：堺市、守口市、東淀川区（更生保護女性会）

【学校実績】

滋賀県、岐阜県、大阪府守口市、大阪府堺市、沖縄県うるま市

谷ノ上朋美ならではのポイント

■「当事者演劇」「一人芝居」という、独自のスタイル

一人の演者がすべての登場人物を演じる一人芝居は、演劇の世界でも珍しい表現です。

一人で何役も演じ分けるからこそ新鮮さと驚きがあり、観る人はその変化に引き込まれながら、自然と作品世界に集中していきます。

谷ノ上朋美の作品は、自身の体験に加え、看護やカウンセリングの現場で会ってきた声を土台に創作されています。

そのため、単なる創作劇ではなく、当事者の現実や感情に根ざした「当事者演劇」として、言葉や場面に強い切実さがあります。

人権、平和、ジェンダー、LGBTQ、DV防止、多様性、生きづらさ。

こうしたテーマは、説明や知識だけでは、どこか遠い問題として受け取られがちです。

しかし、体験に根ざしたりアルな声が、一人芝居という凝縮された表現で届けられることで、観る人の心に残りやすく、理解や対話を深めるきっかけになります。

作品ごとに、各分野のスペシャリストが脚本・演出を手がけており、芸術鑑賞としても見応えのある作品となっています。

上演後のアフタートークでは、谷ノ上朋美自身が、葛藤や苦悩をどう乗り越え、何を伝えたかったのかを語ることで、「自分を受け入れて生きること」「多様性を認め合うこと」「いのちや平和の大切さ」について、理解や対話をより深める時間となります。

また、一人芝居は比較的柔軟な形で実施しやすく、市民ホール・公民館・体育館・会議室など、会場条件に応じた相談が可能です。



ご導入いただいた行政担当者様の声

■「人権」や「男女共同参画」は、自分とは関係がないと思われてしまいがちなのか、本市の男女共同参画イベントは、参加者の少なさに悩んでいました。本市のご出身であることから、谷ノ上さんにご縁をいただきいつもとは手法を変え、お芝居を通して考えていただけることを期待して実施しましたが、結果として会場が満席になるほどの方に参加していただくことができました。お芝居だと参加することへのハードルが低かったのかなと考えています。

参加者アンケートでは、自分の経験と照らし合わせた感想が多かった印象を持ちました。観る人にダイレクトに伝わり「自分事」として受け取っていただきやすいお芝居ならではの効果ではないでしょうか。また、多くではないですが、若い年代の方々の参加者があったことも驚きで、特に不登校だという学生さんから「自分が大嫌いで苦しかったけれども、この芝居で自分を受け入れてみようと思いました」という感想をいただけたことが、私が担当者として、谷ノ上さんをお願いしてよかったと、一番心に残っていることのひとつです。お芝居で取り上げられている個別のテーマは、若い方にはイメージしにくいのではないかと心配もしましたが、谷ノ上さんが抱いておられる強い思いや、お芝居や講演に込められたメッセージは、年代を問わず届くのだと実感しました。今後もひとりでも多くの方に、谷ノ上さんが作り出す世界に触れていただけることを願っています。

「旅立ちの詩～彼女たちの羅針盤～」

(富田林市人権・市民協働課・北村奈緒 様)

自らの生い立ち、俳優をめざし、全国に人権問題をテーマに公演活動された経験、27歳での自己嫌悪、挫折、30歳のからの「人の役に立ちたい」と看護師として活動、そして、自己嫌悪、そこから不妊カウンセラーとして活動する中で、「自分らしく生きること」の大切さをみつける、そのことをより多くの人に伝えたいと、演劇活動を再開されるまでを臆せず、明るく、時には目に涙しながら語られる講演は、受講された市民のみなさんのところにしっかりと伝わるものがありました。

今回のエンパワメントセミナーは、「困難な時代をどう生きるのか」でしたが、テーマに応じていただいた内容でした。「自分を大切に思うこと」、ちょっと考え方を前向きに変えるだけで、生きづらさを感じる毎日から一歩踏み出せるような気持ちになる講演でした。
谷ノ上朋美さん、ありがとうございました。

講演会「わたしらしく、自分らしく」

大阪府守口市人権室・志鎌克巳さま)

行政公演実績

男女共同参画社会/人権問題/LGBTQ啓発事業等として、全国各地で上演を重ねています。

【旅立ちの詩～彼女たちの羅針盤～】

2018年11月	クレオ大阪中央男女共同参画コラボ型セミナー
2019年09月	男女共同参画センターコクリコさかい堺市政130周年のつどい
2019年12月	宇陀市男女共同参画集会
2020年01月	富田林市男女共同参画フォーラム「Be -inひろっぱ」
2020年12月	岡山県総社市男女共同参画フォーラムinそうじゃ
2021年07月	天理市人権教育研究会研修会
2021年09月	枚方市男女共生ウィルフェスタ
2021年11月	大東市男女共同参画啓発事業（配信公演）
2022年07月	吹田市男女共同参画集会
2022年08月	桜井市男女共同参画講演会
2022年12月	守口市ヒューマンライツ・フェスティバル
2023年02月	大阪府高槻市早春ふれあいトーク
2025年01月	大阪府四條畷市男女共同参画事業
2026年06月	調布市男女共同参画フォーラム（配信公演）

【ワタクシ、ゴト】

2021年03月	堺市立男女共同参画センターコクリコさかい40周年
2025年12月	東大阪市男女共同参画事業
2026年06月	守口市男女共同参画事業

行政公演実績

男女共同参画社会/人権問題/LGBTQ啓発事業等として、全国各地で上演を重ねています。

【ゆんたくしましうね】

- 2022年08月 福知山市「第53回人権を考える市民のつどい」
- 2022年09月 堺市男女共同参画センター「コクリコさかいのつどい」
- 2023年08月 守口市「平和のつどい」
- 2024年12月 鳥取県大山町「令和6年大山町人権・同和教育推進大会」
- 2025年07月 奈良県宇陀市「差別をなくす市民集会」

【人魚姫…の娘】

- 2024年06月 富田林市多文化共生・人権センター「TONPAL」オープニングイヤーイベント
- 2024年08月 堺市立男女共同参画センターコクリコさかい「コクリコさかいの集い」

【講演会】

- 2020年01月 堺市立男女共同参画センターこくりこさかい
- 2020年10月 守口市エンパワメントセミナー（eセミナー）
- 2024年10月 東淀川区更生保護女性会全体研修会

リピート開催いただく自治体もあり、その他、学校や一般企業の研修、任意団体のイベントなどでご活用いただいております。すべての実績は、ホームページのプロフィールをご覧ください。

メディア掲載実績

沖縄テレビ

関西テレビ

沖縄タイムス

琉球新報

読売新聞

朝日新聞

その他、多数

27 社会 1版 2022年(令和4年) 6月15日 水曜日

戦後77年

祖母を前に「戦争」演じる

谷ノ上さん一人芝居

祖母が沖縄出身の舞台俳優、谷ノ上朋美さん(49)が那覇市内で演じた一人芝居、沖縄戦で家族全員を失った祖母の物語を、谷ノ上さんが「命や平和の大切さを伝えたい」と舞台への思いを語り、観客さんへ戦争は怖いから」と美談を伝えた。

「命の大切さに思い込め」

谷ノ上さんは「戦争を演じた人から命が奪われていくことを痛感した。谷ノ上さんが、沖縄を学ぶ中で沖縄戦を体験し、戦争や自分自身を知っていく物語。9月12日から19日まで、那覇市内で上演した。自身は大阪出身。これまで人権問題などをテーマとした舞台に取り組んでいた。数年前、糸満市で文芸の「平和の礎」に祖母と母と3人で行った時、命の尊さを痛感した。「おばあちゃんや戦争を生き抜いて命をつないでくれたから、今の自分がいる。今生きていくのって奇跡だな」と、そこから舞台制作が始まった。

何度も沖縄を訪ね、ガイドの案内で戦場のデモグラフィやガマなどの戦跡を巡った。場の中の空気や匂いがこぼれ出てきた。ここで聞かれたの。現場でしか感じられないものがあった。

谷ノ上さんは「戦争を演じた人から命が奪われていくことを痛感した。谷ノ上さんが、沖縄を学ぶ中で沖縄戦を体験し、戦争や自分自身を知っていく物語。9月12日から19日まで、那覇市内で上演した。自身は大阪出身。これまで人権問題などをテーマとした舞台に取り組んでいた。数年前、糸満市で文芸の「平和の礎」に祖母と母と3人で行った時、命の尊さを痛感した。「おばあちゃんや戦争を生き抜いて命をつないでくれたから、今の自分がいる。今生きていくのって奇跡だな」と、そこから舞台制作が始まった。

谷ノ上さんは「戦争を演じた人から命が奪われていくことを痛感した。谷ノ上さんが、沖縄を学ぶ中で沖縄戦を体験し、戦争や自分自身を知っていく物語。9月12日から19日まで、那覇市内で上演した。自身は大阪出身。これまで人権問題などをテーマとした舞台に取り組んでいた。数年前、糸満市で文芸の「平和の礎」に祖母と母と3人で行った時、命の尊さを痛感した。「おばあちゃんや戦争を生き抜いて命をつないでくれたから、今の自分がいる。今生きていくのって奇跡だな」と、そこから舞台制作が始まった。

2024年(令和6年)6月23日(日曜日)

沖繩の惨禍

継ぐ一人芝居

家族全員犠牲 祖母の体験基に

大阪の俳優 谷ノ上 朋美

「戦争の惨禍」をテーマにした舞台俳優、谷ノ上朋美さん(49)が那覇市内で演じた一人芝居、沖縄戦で家族全員を失った祖母の物語を、谷ノ上さんが「命や平和の大切さを伝えたい」と舞台への思いを語り、観客さんへ戦争は怖いから」と美談を伝えた。

演じる者も見る者も 心に届く

中学校教員 河野 智行 (大阪府 56)

顧問を務める演劇部がはじめについて考える劇を上演した。部員は多くのことを感じながら酷い役、辛い役を演じた。見た生徒の反響からも演劇はストレートに心を動かす力があると感じた。

府内約20の中学演劇部が参加する演劇祭に我が演劇部の演目は沖縄戦と考えていた。事前の勉強に、大阪を中心に活動する俳優の谷ノ上朋美さんの沖縄戦を題材にしたひとりの芝居を見た。家族を失い、1人生き残った祖母の体験をもとに谷ノ上さん自身をモデルにそれを確信した。

そして教員として学ぶ

【戦世77年】命大切さ・平和の尊さをひと...

戦世から77年 平和の尊さを伝える ひとり芝居

QRコード

5:36

覚えてない... 大阪出身の俳優が舞台上で継承

谷ノ上朋美 ひとり芝居 「ゆんたくしましょうね」

QRコード

被災地を支援 芝居と歌のチャリティー公演

被災地半島地震やハワイのマウイ島へ救援金

俳優 谷ノ上 朋美さん

祖母が経験した沖縄戦の記憶 ひとり芝居を上演

0:36 / 1:13

QRコード

プロフィール

俳優・講演家・カウンセラー：谷ノ上 朋美（たにのうえともみ）



幼少期に性暴力やいじめを経験し、摂食障害や容姿コンプレックスに悩んだ学生時代を経て、「自分以外の何者かになりたい」と強く願う日々を過ごす。

短期大学卒業後、演劇活動を開始。人権をテーマにした一人芝居の先駆者・新屋英子に師事し、全国を巡演する。その後、自身の闘病や家族の看護を通して、身近な命と向き合いたいとの思いから看護師資格を取得。ALSや筋ジストロフィー、がん患者の看護に従事するが、過労とストレスにより甲状腺がんを発症。さらに父のがんも重なり、「命とは何か」と深く向き合う転機となる。

看護師を退職後、漢方不妊カウンセラーへ転身。「心と体はつながっている」という信念のもと、医学・東洋医学・心理学を統合したカウンセリングを実践し、これまでの相談件数は2万件を超える。

多くの経験と出会いのなかで、「自分らしく生きることが、人生において最も大切なこと」と実感し、2017年、演劇活動を再開。マイノリティ、DV、虐待、多文化・異文化共生、多様性、平和など、人権問題をテーマに、一人芝居という独自の表現スタイルで作品を創作・上演。社会課題や生きづらさを可視化し、人々の“内なる声”に寄り添う舞台づくりに力を注ぐ。

2018年 「旅立ちの詩～彼女たちの羅針盤～」を制作。大阪市協賛で公演。

2020年 「ワタクシ、ゴト」を京都市と共同で制作。

2022年 「ゆんたくしましょね」を制作。

新しい語り部の形として多数メディアに取り上げられる。

2024年 富田林市より依頼をうけ、音楽劇「人魚姫...の娘。」を制作。

2026年 「縄、編む」上演。

ひとり芝居という特殊なジャンルで、自分自身の体験や出会った人々の経験から創作された舞台は、痛みを希望へと昇華し、真っ直ぐに心に響く舞台として高く評価。各作品ともに全国の教育機関・行政・平和イベントなど、さまざまな場での上演を通し、命と向き合い“自分を生きること”の大切さを伝え続けている。

■当日の流れ(午後公演の例)

09:00~12:30	搬入・設営・場当たり
12:30~13:30	休憩・開演準備
13:30~14:00	観客入場
14:00~16:00	開演（※時間は調整可能）

※芝居の準備時間は、演目や開場など、条件により異なります。
アフタートークや講演会、グループワークなどとセットでの対応も可能です。
ご予算や目的に合わせ、内容を決めていきます。

詳細な準備マニュアル・事前資料は別途ご用意しておりますので、まずはお気軽にお問い合わせください

■お問い合わせ

お問い合わせは、お電話・メール・HPよりお願いいたします。

（電話受付窓口）株式会社プランニングハウス・ウエスト
TEL：06-6223-7776（平日10:00～16:00）

ピュアモノログ事務局
contact@puremonologue.com

株式会社ピュアモノログ（公演依頼ページ）
<https://www.puremonologue.com/request>



公演依頼ページ



HP



谷ノ上朋美
公式ライン